



録画配信はこちら

# 「こどもまんなか社会」の構築に向けて

**Q** 子どもの権利を守るための政策を、充実させるためには

**A** 子どもの想い・保護者の意見に寄り添う共生社会の構築を目指す

**答** (教育長・子ども支援課長) 就学前保育・教育の充実 愛荘16年教育にある目指す子どもの姿を共有し、読み聞かせ、自尊感情を育む取り組み、お母さん、お父さんへの支援、啓発、教育相談活動等を更に充実する。

**問** 障がい児教育の充実 ニーズを把握し、切れ目のない

**問** 子どもの権利を守るための政策を、充実させるためには

**答** (子ども支援課長) 子ども支援課が中心となり業務を担うとともに、健康推進課、福祉課、教育委員会各課が連携しながら事業を実施している。

**問** こども家庭庁の政策を推進するために

**答** (子ども支援課長) 子ども支援課が中心となり業務を担うとともに、健康推進課、福祉課、教育委員会各課が連携しながら事業を実施している。



小学生の登校の様子

**問** 家族の介護などにより、登校意欲が低い児

**答** (学校教育担当課長) 令和4年度の町の不登校児童生徒数は、小学校では21名、中学校では39名である。

**問** 不登校の状況とヤングケアラーの関係性は

**答** (学校教育担当課長) 全ての町機構とかこの組織によって解決、改善されるのではなく、自分の持つ主体性を発揮し集合体として力を伸ばす事が重要だ。



録画配信はこちら

# 役場の職場改善を

**Q** 活気のない職場、途中退職の多い役場の改善策は

**A** 社会全体として、人材の流動性は高まっている時代

**問** 活気のない職場、途中退職の多い役場の改善策は

**答** (町長) 民間企業のように、なかなか伸ばしたり下げたり出来ないのが行政だ。

**問** 町長に就任され、いくつかの所属課を統合されたが、その成果を尋ねる。

**答** (町長) 危機管理対策室と環境対策課を合わせ、くらし安全環境課、長寿社会課と地域福祉課を統合し福祉課。みらい創生課にまちづくり協働課を一元化した。縦割りの組織から横

**問** 断的な組織づくりを進めるために関連分野の施策連携強化を図った。

**答** (町長) それは、森野議員の視点や主観であり、大変良く編組いだいたという意見もある。

**問** 住民の皆さんから課の名前がわかりづらい、どの課に行けば良いのかわからない等の声が聞かえる。

**答** (町長) それは、森野議員の視点や主観であり、大変良く編組いだいたという意見もある。

**問** 休職者の給与体制はどうなっているのか。

**答** (経営戦略課長) 90日間は病気休暇となり、本来の職員の給料が手当てされる。90日を越えた場合は、8割の分が手当てされる。

**問** 本町の役場職員で、辞める人が多いのはなぜか。

**答** (町長) 社会全体として非常に人材的な流動性というのは高まっている時代と捉えている。

**問** 執行部会議で町長の顔色ばかり見て意見の出しにくい空気感があるのではないかと懸念している。

**答** (町長) 町長が高圧的ではと指摘されたが、そんなことは全く当たらない。

**問** 森野議員が気になるので、私たちは広範囲に町政を進めて議論をしている。

**答** (町長) それは、森野議員が気になるので、私たちは広範囲に町政を進めて議論をしている。

**問** 最近の役場を見ていると、活気や活力のない職場に見える。

**問** 断的な組織づくりを進めるために関連分野の施策連携強化を図った。

**問** 本町の役場職員で、辞める人が多いのはなぜか。

**問** 森野議員が気になるので、私たちは広範囲に町政を進めて議論をしている。